

教科	社会	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
世界と日本の地域構成	11	①緯度と経度、世界各国との時差などを基に世界と日本の地域構成を大観し理解させる。 ②世界と日本の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や周辺の海洋の広がりなどに着目して多面的・多角的に考察させる。 ③世界と日本の地域構成について、そこで見られる課題を主体的に追究させる。	緯度と経度、世界各国との時差などを基に、世界と日本の地域構成を大観し理解している。	世界と日本の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や周辺の海洋の広がりなどに着目して多面的・多角的に考察している。	世界と日本の地域構成について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
人々の生活と環境	8	①人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然から影響を受けたり、その場所の自然に影響を与えたりすることを理解させる。 ②世界各地における人々の生活の変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然などに着目して多面的・多角的に考察させる。 ③世界各地の人々の生活と環境について、そこで見られる課題を主体的に追究させる。	人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。	世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察している。	世界各地の人々の生活と環境について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
世界の諸地域	16	①ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解させる。 ②ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州において、地域で見られる地球的課題の要因を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察している。 ③世界の諸地域について、そこで見られる課題を主体的に追究させる。	ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。	ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察している。	世界の諸地域について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
歴史の捉え方・調べ方	3	小学校で学習した歴史上の人物などについて振り返り、年表に整理する作業を通して、時代の特色や歴史の移り変わりへの興味や関心を高める。 時代区分の方法や年代の表し方を身に付ける。	・課題を追究したり解決したりする活動を通して、年代の表し方や時代区分の意味についての基本的な内容を理解している。 ・資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。	時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目しながら、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察している。	私たちと歴史の活動を通して、歴史学習に向けて、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

原始・古代の日本と世界	15	人類が出現し、やがて世界各地で古代文明がおこったことや、宗教がおこったことを理解する。 日本列島で狩猟・採集を営んでいた人々の暮らしについて考える。 天皇や貴族の政治が展開され、古代国家が発展していったことを理解する。	世界の古代文明のおこりを基に、考古学の成果をはじめとする諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめ、世界各地で文明が築かれたことを理解している。 国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。	世界の古代文明の特色や宗教のおこりについて多面的・多角的に考察している。 農耕の広まりによる人々の生活の変化について、多面的・多角的に考察している。	7～8世紀の世界の動きや律令国家が形成されていく過程について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 天皇や貴族の政治が展開され、古代国家が発展し、日本独自の文化が生み出されたことについて、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
中世の日本と世界	13	武士や民衆の活力を背景に生まれた新たな社会や文化の特色について考える。 南北朝の争乱や室町幕府の成立について、東アジア世界との密接な関りとともに理解する。 室町文化には禅宗の影響や現在との結びつきがみられることに気づく。	武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立したことなどを理解している。 武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。	武士の政治への進出と展開や、東アジアにおける交流などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の特徴について多面的・多角的に考察している。 民衆の成長が社会に与えた影響について多面的・多角的に考察している。	武士が台頭して鎌倉幕府が成立し、その支配が全国に広まるとともに、武士や民衆の活力を背景に生まれた社会や文化について、そこで見られる課題を主体的に追究している。
近世の日本と世界	18	ヨーロッパ人が日本に来航した背景や目的を理解し、それが日本の社会に及ぼした影響について考える。 織田信長・豊臣秀吉による全国の統一事業やについてとらえ、近世社会の基礎がつくられていったことを理解する。	世界の動きと統一事業、江戸幕府の成立と対外関係、産業の発達と町人文化、幕府の政治の展開について理解する。	交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察する。	信長・秀吉による統一事業により、近世社会の基礎がつくられていったことについて、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 産業の発達、教育の普及と文化の広がり、農村の変化、江戸幕府の政治改革など、日本の近世社会の発展と変化について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
日本の近代化と国際社会	21	近代社会を成立させた欧米諸国が、新たな市場や原料の供給地を求めてアジアに進出したことについて考える。 幕末の開国と、その政治的・社会的な影響について、欧米諸国のアジア進出との関りから理解する。	欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き、明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について理解する。	工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察する。	欧米諸国が市民革命や産業革命により近代社会を成立させ、アジアへ進出していったことについて、そこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことや、立憲制の国家が形成されたことについて、主体的に追究しようとしている。